

業務仕様書

1 業務名

中島体育センター冷房設備保全業務

2 業務目的

中島体育センターの競技団体事務室（2階）の冷房設備1組が経年劣化により故障しているため、冷房設備を交換する業務を行う。

3 履行場所

中島体育センター（札幌市中央区中島公園1番5号）

4 履行期間

契約締結日から令和6年9月13日まで

※現地作業については7月下旬までに実施すること（作業条件については5業務内容(7)を参照）

5 業務内容

(1) 冷房設備（室外機、室内機）規格

ア 既存機器の規格

記号	仕様	型式	備考
ACP-3	冷房能力：10.0KW 室内機：天井カセット形（4方向吹出） 風量16m ³ /min 三相200V	PLX-J112AAG9	三菱電機(株)製

イ 交換機器の規格

交換機器は既存機器の規格と同程度の能力を満たすものとし、下記の適合品を想定すること。

【適合品】

メーカー	型式	仕様	数量
三菱電機(株)	PLZX-ERMP112H4	冷房能力：10.0KW 暖房能力：11.2KW（※） 風量：弱16-中17-強18m ³ /min 三相200V	1組

※事務室には本機器以外に暖房設備が備わっているため、必須の機能ではない

ウ 適合品以外の機器の選定

適合品以外で見積る場合は、担当者にカタログ等、仕様書の規格を満たしていることがわかる書類を提出し、確認及び承認を受けること。

(2) 機器設備保全業務

ア 撤去

- ・既存機器の室内機 2 台、室外機 1 台を撤去すること。
- ・室外機の既存基礎は再利用し、架台は撤去すること。
- ・室内機に取りついている風よけは取り外し、施設管理者に引き渡すこと。

イ 据付

- ・室内機 2 台、室外機 1 台は、原則、既存位置と同じ場所に据え付けること。
- ・室外機の架台は仕様に合ったものに更新すること。

ウ 天井点検口

- ・機器の撤去・据え付け及びメンテナンスのために、天井点検口を設けること。

エ 試運転調整

- ・据え付け後、機器が正常に動作することを確認すること。

オ その他

- ・事務室内の机等は必要に応じて養生すること。

(3) 配管保全業務

ア 既存配管

- ・既存冷媒管及び既存ドレン配管は最大限既存を再利用すること。

イ 再接続作業

- ・機器と既存配管との接続位置は現地調査にて、決定すること。
- ・下記に再接続に使用する配管の種類と数量の想定を示す。

(ア) 冷媒配管用被覆銅管ペアーコイル被覆 10mm/10mm

- ・ 9.52/15.88 ϕ × 6 m
- ・ 同上継手類・接合材、支持金物類一式

(イ) 硬質塩化ビニル管 V P

- ・ 25A × 4 m
- ・ 同上継手類・接合材、支持金物類一式

(ウ) 断熱ドレンアップホース (700mm、継手付)

- ・ 25A × 2 本

ウ 保温作業

- ・既存配管の撤去・再接続部分の保温・配管化粧カバーは復旧すること。

エ 試験調整

- ・本体の総合試運転前に配管の試験調整及び冷媒配管の気密試験を実施すること。

(4) 電気設備保全業務

ア 漏電遮断器

- ・事務室内の漏電遮断器は撤去し、交換機器の仕様に適合したものに交換すること。

イ 電気配線

- ・既存電源線及び制御線は最大限既存を再利用すること。

ウ リモコンスイッチ

- ・既存の位置に取りつけること。

(5) 冷媒回収・処理

既存機器の冷媒については適切に回収・処分し、履行期限内にフロン排出抑制法に対応した行程管理票（A・E票）を提出すること。

(6) 産業廃棄物処理

産業廃棄物については適切に処分し、履行期間内にマニフェスト（A・E票）を提出すること。

(7) アスベスト処理

競技団体事務室の天井材は非飛散性アスベスト（レベル3）が含有しているものとみなし、適切に除去を実施し、履行期限内にマニフェスト（A・E票）を提出すること。

(8) 作業条件

- ・作業員・機器搬出入動線は施設利用者の動線でもあるため、細心の注意を払うこと。
- ・現地作業の期限は7月下旬としているが、可能な限り気温が高くなる前に実施できるよう検討すること。
- ・火曜、木曜は施設利用者が多いため、利用者が比較的少ない月曜での作業を第一優先で検討すること（7月22日は全館休館日であるため、施設利用者なし。施設管理者は在中）
ただし、現地作業を可能な限り早く実施するために、施設管理者と協議を行った場合は、この限りではない。
- ・室外機搬出入経路となっている講堂は一般の利用申込があった場合、作業が出来ない時間が発生するため、可能な限り早急に施設管理者と作業日を調整すること。
- ・地下1階のエアコン用ブレイカーは全館のエアコン共通のものであるため、可能な限り影響が少ない作業工程とすること。

(9) 作業工程表

現地作業の概略工程表を作成すること。

(10) 資格

冷凍設備に関する現地作業を行う際は、冷凍空気調和機器施工技能士資格を有する者が監督または施工を実施すること。

6 成果品

- (1) 完了届
- (2) 業務報告書（写真帳含む）
- (3) 各種マニフェスト

7 その他

- (1) 業務の計画・実施にあたっては、施設利用者への影響を最小限に抑えるため、担当職員、施設管理者と作業工程の打合せを十分に行うこと。
- (2) 業務の実施にあたっては、関係法令等を遵守すること。
- (3) 業務の実施にあたっては、利用者の利便性や安全性を十分考慮すること。

- (4) 未使用機器等の電源切断の励行による節電、再生紙の積極利用など、環境に配慮した資源の利用に留意すること。
- (5) その他、業務の実施に関して疑義が生じた場合は、担当職員と打合せの上遺漏のないよう遂行すること。